

令和5年度（2023年度）

管理事業名	休日急病診療所事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康	
						政策 4	健康・医療のまちづくり	
						施策 3	地域医療体制の充実	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 8	休日急病診療所費	
部局名	健康医療部	予算執行 所属	健康まちづくり室					
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供する。 <b>【概要】</b> 吹田市立休日急病診療所を運営し、内科、小児科、外科、歯科の4診療科の診療を行う。なお、令和2年度から吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会に診療所運営業務を委託している。								

### I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標の定義
受診者数	人	2,909	6,227	8,195	休日急病診療所を受診した延べ患者数

### II 活動実績・成果

<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザが流行する等、引き続き発熱患者が多く受診したこともあり、延べ患者数は8,195人と前年度より1,968人増加した。</p> <p>本市の休日急病診療所は令和2年5月に現在の場所に移転し、待合室や診察室を感染エリアと非感染エリアごとに分けることができる十分な面積があったこともあり、診療受付時間であれば診察を希望する感染症患者を制限することなく診察することが可能となり、延べ患者数の増加につながった。</p>	
---	--

### III 課題と今後の取組

<p>本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因や新型コロナウイルス感染症の流行状況等に今後も影響を受けるものと思われる。</p> <p>しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要がある。また、国が進める医療DXの方針を踏まえ、必要となるシステム導入等も行いながら</p>	<p>事務の負担軽減や効率化を図っていくとともに、個人情報保護の強化に努めていく。</p>
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,090	5,078	△12
未収金	-	-	-	地方債	3,734	3,734	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,356	1,344	△12
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	667,663	656,016	△11,647	その他流動負債	-	-	-
土地	411,876	411,876	-	固定負債	112,068	105,434	△6,634
建物・工作物	255,787	244,140	△11,647	地方債	97,097	93,362	△3,734
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	14,972	12,072	△2,899
無形固定資産	240	240	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	117,159	110,513	△6,646
建物・工作物	-	-	-	純資産	559,256	551,874	△7,382
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	8,512	6,131	△2,381	図書資料	-	-	-
図書資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	676,415	662,387	△14,028
資産の部合計	676,415	662,387	△14,028	負債及び純資産の部合計	676,415	662,387	△14,028

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	29,572	101,552	120,179	18,628
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,557	5,219	610	△4,609
経常収入 小計(a)	31,129	106,771	120,789	14,018
給与関係費	16,382	19,880	15,935	△3,945
物件費	113,594	122,605	132,816	10,211
維持補修費	150	218	295	77
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	3	3
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	14,054	14,052	14,028	△24
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,159	1,356	1,344	△12
退職手当引当金繰入額	712	4,699	△2,277	△6,976
支払利息	322	311	300	△11
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	146,374	163,120	162,444	△676
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△115,245	△56,350	△41,655	14,695
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△115,245	△56,350	△41,655	14,695
一般財源充当額	105,347	42,462	34,273	△8,189
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△9,898	△13,887	△7,382	6,506

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	31,129	106,771	120,789	14,018
行政サービス活動支出	132,741	145,499	151,328	5,829
行政サービス活動収支差額	△101,612	△38,728	△30,539	8,189
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	3,735	3,734	3,734	-
財務活動収支差額	△3,735	△3,734	△3,734	-
収支差額 合計	△105,347	△42,462	△34,273	8,189
一般財源充当額	105,347	42,462	34,273	△8,189
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 事業用資産 建物・工作物	吹田市立休日急病診療所(建物)の減価償却による11,647千円の減
【BS】 重要物品	レントゲン機器など重要物品の減価償却による2,381千円の減
【PL】 使用料及び 手数料	令和5年度は受診者数の増加等により18,628千円増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者1人あたりのコスト	50,317円	26,196円	19,822円
実績	2,909人	6,227人	8,195人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容  
各年度の受診者数で算出し、令和5年度は受診者1人当たり19,822円のコストである。前年度と比較し受診者数の増加等により、1人当たりのコストが減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	13,562	-	2.00
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	1,440	-	-
合計	15,002	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		11.6	15.4	19.3	3.9
施設維持補修費比率		0.0	0.1	0.1	0.0
経常費用対公共資産比率		48.4	53.9	53.7	△0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		20.2	62.3	74.0	11.7
一般財源充当比率		77.2	28.5	22.1	△6.4